

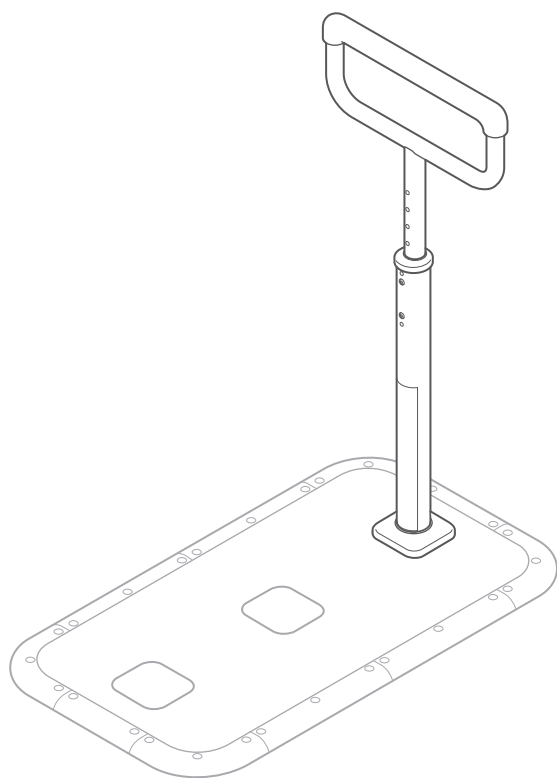
取扱説明書

歩行サポート手すり スムーディ 手すり360 家庭用

品番 PN-L80616

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のお願い	4
各部のなまえ	5
同梱品の確認	5
別売品	5
初めて使うときの準備	6
組み立て・設置後の確認	8
使いかた	9
お手入れのしかた	10
保管方法	11
修理を依頼される前に	11
製品の長期使用について	12
仕様	12
製品寸法図	12
保証とアフターサービス	14
お客様ご相談窓口のご案内	14



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～4ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
--	--

警告

転倒、破損、けが
などを防ぐために

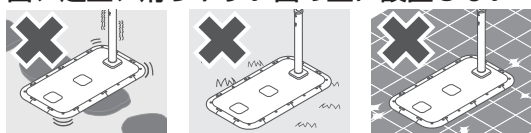


手すりを設置する際は



- 指定の製品以外と組み合わせたり、連結して組み立てたりしない
→他の製品を組み合わせた製作物の安全は保証できません。
- 歩行サポート手すり スムーディ
・手すり標準シリーズ ・手すり伸縮シリーズ
・手すり N 伸縮シリーズ
と組み合わせたり、連結して組み立てたりしない
(破損によるけがの原因)

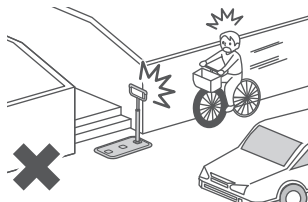
- 標準ベースよりも小さい庭石や凹凸が大きい面、芝生、滑りやすい面の上に設置しない



- 斜面に設置しない
- 指定のネジや部品以外、品番の組み合わせ以外で組み立てしない
- ステップベース (PN-L80602) と組み合わせて使用しない
(転倒によるけがの原因)

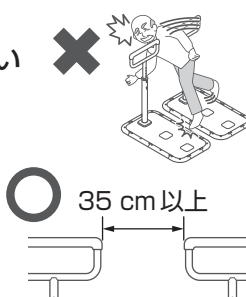
- 公道などの道路にはみだして設置しない

(車両や通行人の事故の原因)



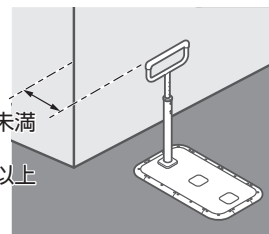
- 利用者が挟まらないよう 2 台を隣接して使用しない
(窒息、骨折の原因)

→ 2 台を並べる場合は、手すり同士のすき間が 35 cm 以上となるように設置してください。



- 必ず標準ベース (PN-L80601) と組み合わせて使用する
- 設置後のガタつき、ネジのゆるみ、締め忘れが無いことを必ず確認する
→設置後、必ず 8 ページの「組み立て・設置後の確認」をチェックしてください。
- 固定式ではないため設置後の安定性を必ず確認する
- 段差の上に設置する場合は、段差の下からご利用者の手が届かない位置に設置する
- 高さ調整ネジが固定されていることを確認する
(転倒によるけがの原因)
- 標準ベース裏側に小石などをはさまないように設置する
- 利用者が標準ベースを踏みながら使用できるように設置する
(けがの原因)
- 壁際に設置する場合は、壁と手すり部の間が 110 mm 未満、または 350 mm 以上になるように設置する
(窒息、骨折の原因)

110 mm 未満
または
350 mm 以上



- 組み立ては納入業者が行う
(事故の原因)

警告

転倒、破損、けが
などを防ぐために



手すりを使用する前に



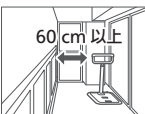
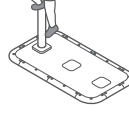
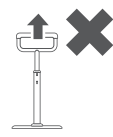
- 予測できない行動をとる、自力で危険な状態を回避することができない利用者は使用しない
(事故の原因)
→ 重度者の方が利用する場合は、モニタリング、フィッティングを行った上で判断してください。



- 利用者の身体状況、設置環境に合ったフィッティングを行い、手すり高さ、動線確認を行う
- 標準ベースに同梱の取扱説明書を確認する
(事故の原因)

手すりを使用する際は



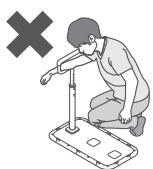
- 水平方向に力を加えない
→ 手すり部を持って床面に向かって押さえつける方向に力を加えてください。
- ベランダなどの転落の危険性がある場所に設置する場合は、屋外側の柵や窓から 60 cm 以内に設置しない

- 手すりに腰かけたり、ぶら下がったり、踏み台にするなど、手すり以外の目的で使わない 
- 子どもや幼児を遊ばせる(手すりによじ登る) など手すり以外の目的で使わない
→ 思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 手すりにもたれかからない
- 引き抜き方向に力を加えるなど、標準ベースが浮き上がるような使用はしない 
- めれた状態の標準ベースや手すりは、乾燥状態より滑りやすくなるので注意する
- 車いすからの立ち上がりには使用しない 
- 標準ベースに砂利や土、雪などが乗ったまま使用しない
- 標準ベースマットを剥がして使用しない
(転倒によるけがの原因)

- 杖など移動支援具と併せて使用しない
(つまずき、転倒によるけがの原因)



- 2人以上で同時に使用しない
- 手すり部を引っ張ったり、体をぶつけたりしない
(変形、破損、転倒によるけがの原因)
- 火気やストーブ、ファンヒーターのそばで使わない
(火災ややけどの原因)

- 手すり部のすき間に頭や腕、足などを入れない
(窒息、骨折の原因)



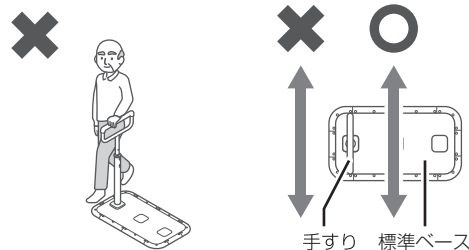
- 利用者の状況(安全に使用できるか)を確認し、介助が必要な場合は介助者が付き添うなど安全に十分注意する
(事故の原因)
→ 適さなくなった場合は、直ちに使用をやめ医師や介護士、ケアマネジャーなどの専門家に相談し、適切な処置を受けてください。

- 毎回使用する前に製品にガタつきがないか確認する
→ 地面と標準ベースのすき間によるガタつきがある場合はガタツキを抑えるオプション部品「ガタツキ抑制プレート」の使用をおすすめします(5 ページ参照)



- 夜間など手すり位置を認識できない状態での使用は十分に注意する
(転倒によるけがの原因)
- 手すり部表面にひび割れなどの劣化がないことを確認して使用する
(劣化、破損による事故の原因)

- 手すりは標準ベースのある側から使用する



- 標準ベースマットは必ず指定のものを使用する
- 必ず手すり部の被覆を持つ
- 標準ベースの段差や支柱カバーにつまづかないように注意する
(転倒によるけがの原因)
- 使用中にゆるみやガタツキが発生した場合は直ちに使用を中止して必ず納入業者に相談する
(事故の原因)

⚠ 警告

転倒、破損、けが
などを防ぐために



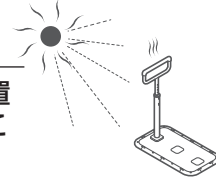
次のこともご注意ください



- お客様による分解、改造、修理は行わない
(性能低下による事故の原因)
- 体重 100 kg を超える方は使用しない
(変形、破損、転倒によるけがの原因)
- 製品梱包用のポリ袋やシートはかぶらない
(窒息の原因)
- 本製品に貼ってあるシールや印字をはがさない
(事故の原因)
→利用者を危険から守るためや故障時にすみやかに対応をするためです。ロット番号から詳細仕様が分かり、的確な対応が可能になります。



- 製品に異常を見つけた場合は使用を中止する
(事故の原因)
→正しく設置できていない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 標準ベースから外した手すりは、衝撃や荷重による破損に注意する
- 長時間、直射日光に当たると変色・退色する場合があるので注意する
(製品の破損による事故の原因)
- 直射日光に当たる場所に設置すると、金属部が熱くなることがあるので注意する
(やけどの原因)



⚠ 注意

変形、劣化、破損
などを防ぐために



組み立ての際は



- 手すり部や下支柱は、スムーディ手すり 360 以外の製品と組み合わせず設置しない
(転倒によるけがの原因)



- 標準ベースを設置する際は、接地面と標準ベースの間に指や足を挟まないように十分注意して設置する
(けがの原因)
- 高さ調整を行う際は、手すり部を持ち上げながら行う
(落下によるけがの原因)

次のこともご注意ください



- 製品に物を乗せたり、吊るしたり、かぶせたりしない
(変形、破損によるけがの原因)



- 必ず支柱カバーを取り付けて使用する
- 手の油やハンドクリームなどで手すり部が滑るようになってきたら拭き取って使用する
(転倒によるけがの原因)



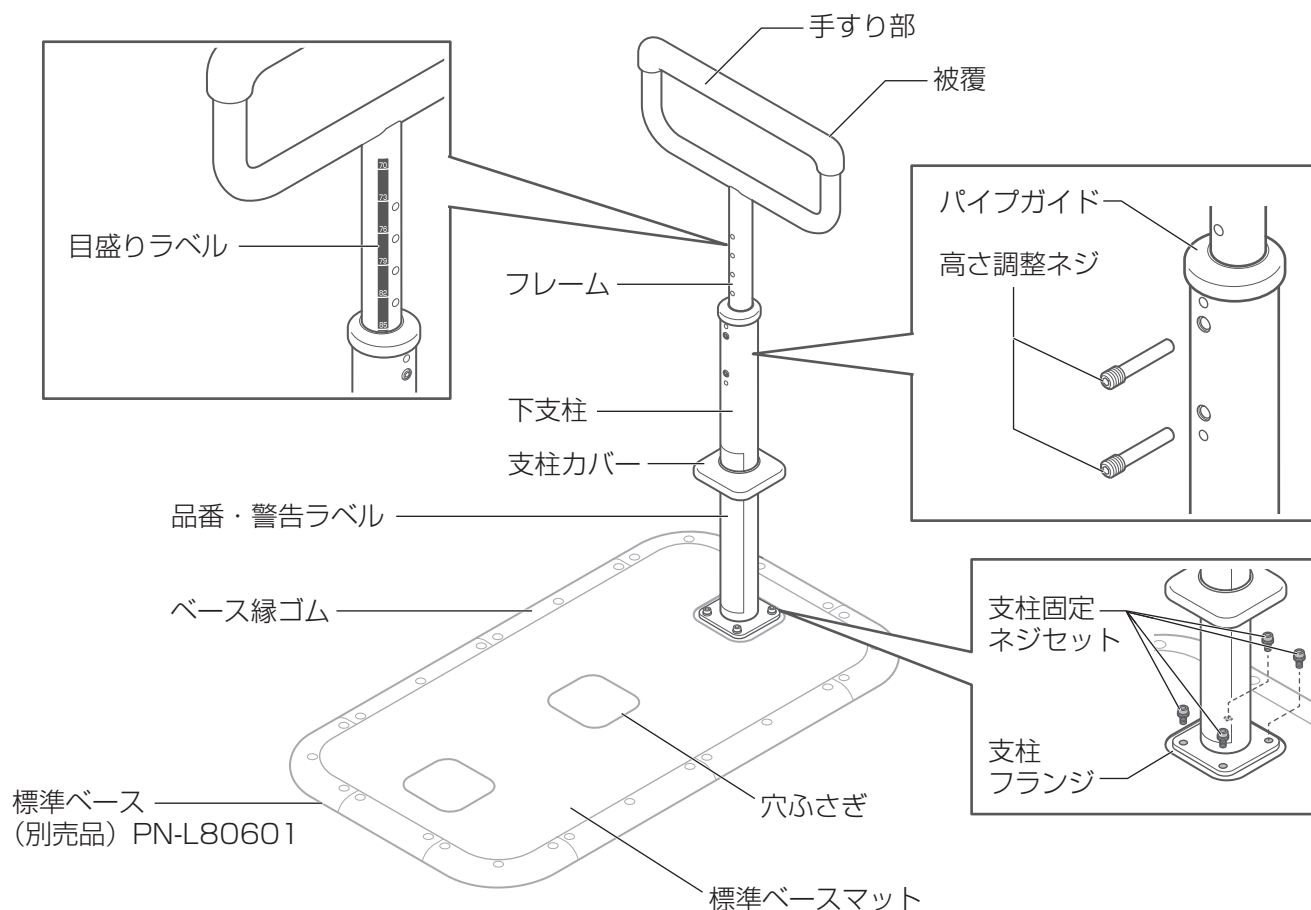
- 定期的に各部位に破損などがいないか確認する
(事故の原因)
- 電動工具を使用しない
→過剰トルクで締め付けるとネジの破損の原因となります。

使用上のお願い

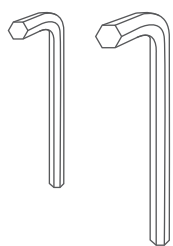
- 標準ベースおよび手すり部は必ず指定の位置に指定のネジで固定する
- 持ち運びの際は製品が落下しないように注意する
(変形、破損の原因)
- ネジはネジ穴に対してまっすぐ締め付ける
(破損の原因)

- 本製品は直射日光に当たらない常温常湿の室内で保管する
(変形、破損の原因)
- 開き戸付近に設置する際は、扉と手すりとの干渉や扉下と標準ベースとの干渉を確認して設置する
(扉や製品の破損の原因)

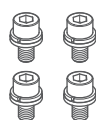
各部のなまえ



同梱品の確認



六角レンチ
呼び 4 : 1 本
呼び 5 : 1 本



支柱固定ネジセット
4 本



取扱説明書
(保証書付き)
1 冊

別売品

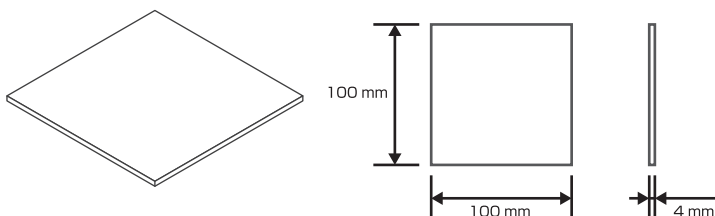
オプション品のご案内

歩行サポート手すり スムーディ専用 ガタツキ抑制プレート

品番 PN-L8060059P

地面と標準ベースのすき間に対するガタツキがある場合は「ガタツキ抑制プレート」の使用をおすすめします。

- 4 枚で 1 組です。
- 設置時にガタツキがある場合、本製品を使用することで、ガタツキを抑えます。



初めて使うときの準備

組み立てと手すりの高さ調整

⚠ 注意



- 高さ調整を行う際は、手すり部を持ち上げながら行う
(手すり部の落下によるけがの原因)

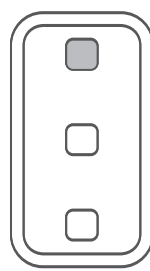
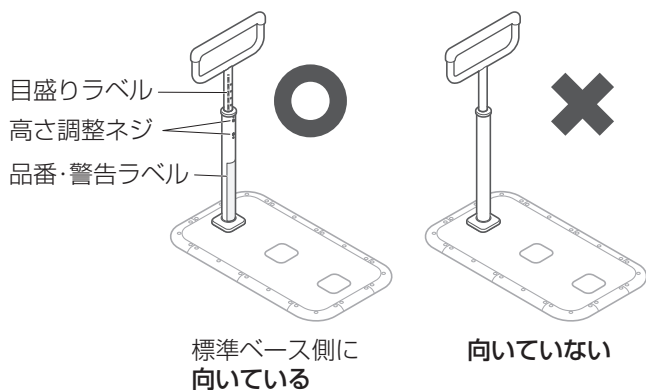
お願い

- 標準ベースに支柱を固定した状態で、高さ調整をしてください。
- ネジはネジ穴に対してまっすぐ締め付けてください。
(破損の原因)

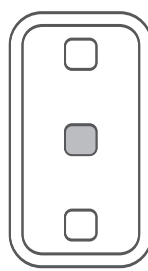
付属の六角レンチ（呼び 4、呼び 5）を使用する

1 支柱の取付位置を決める

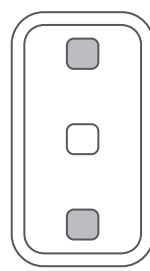
片手すり（端）、両手すりの位置に取り付ける場合、支柱の向きは、品番・警告ラベルと高さ調整ネジが標準ベース側になるように取り付けてください。



片手すり
（端）



片手すり
（中央）



両手すり

支柱の取付位置を決め、使わない取付位置を穴ふさぎで埋める。

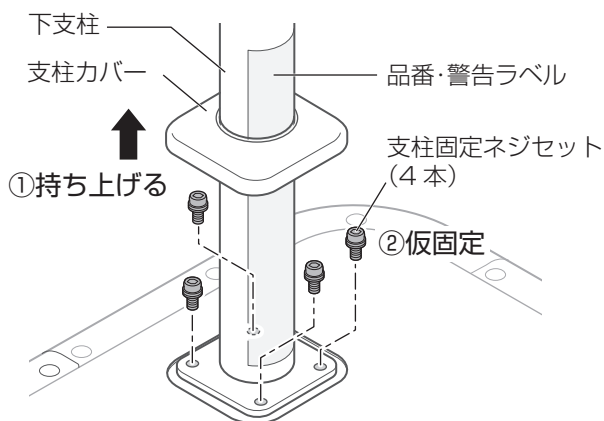
お知らせ

穴ふさぎの貼り直しはできません。
貼り直す場合は、両面テープの貼り替え、または穴ふさぎを交換してください。

2 下支柱を標準ベースに仮固定する

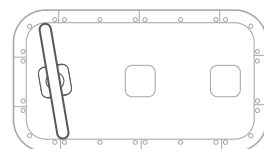
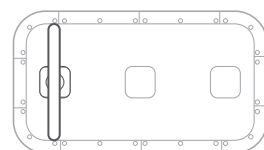
付属の六角レンチ（呼び 5）を使用する

- ① 支柱カバーを持ち上げる。
- ② 標準ベースの穴に合わせて、下支柱を仮固定する。
(支柱固定ネジセット 4 本)



3 手すりの位置を合わせる

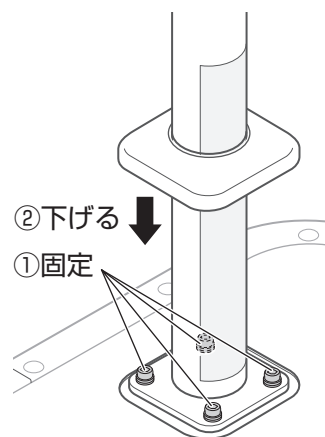
手すりと標準ベースが上から見た際に平行になるように手すりの位置を調整する。



4 下支柱を固定する

付属の六角レンチ（呼び 5）を使用する

- ① 支柱固定ネジセットを締め付けて固定する。
（締め付けトルク 5N・m以上）
- ② 支柱カバーを下げる。

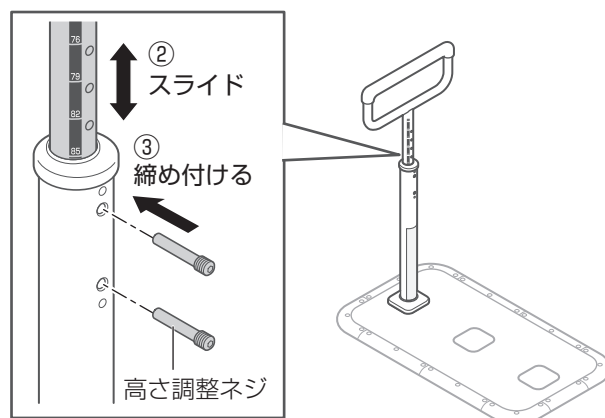


5 手すり部の高さを調整する

付属の六角レンチ（呼び 4）を使用する

手すり部の高さは 6 段階に調整できます。
（床面から 70 / 73 / 76 / 79 / 82 / 85 cm）

- ① 高さ調整ネジを 2 本とも外し、下支柱から抜き取る。
- ② 手すり部を固定する高さまでスライドする。
- ③ 手すり部をしっかりと保持し、高さ調整ネジを穴に差し込み交互に締め付ける。（2 本）
（締め付けトルク 7N・m 以上）



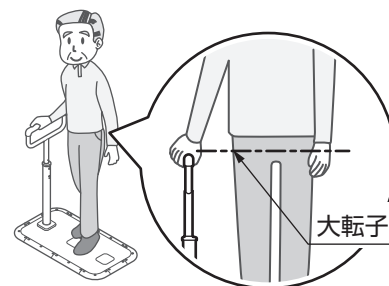
ネジの飛び出し注意

高さ調整ネジを締め付ける際は、下支柱から飛び出していないことを確認してください。
飛び出していたら、一度取り外してから締め直してください。



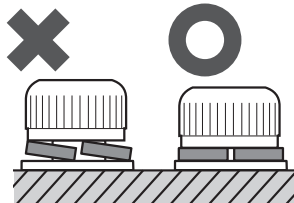
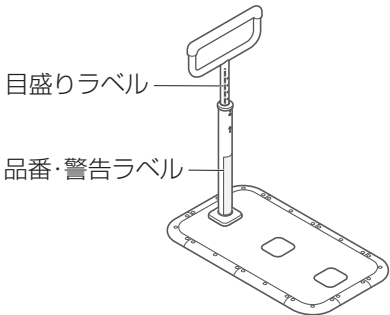
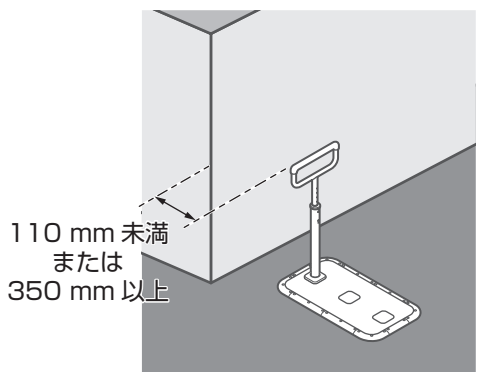
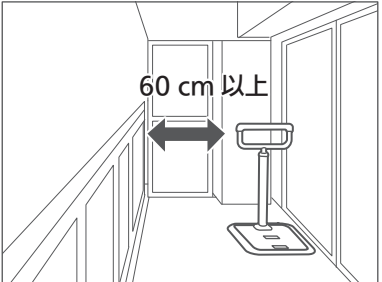
フィッティングの目安

横に立ったとき、腰（大転子）辺りに、手すりの上端がくるように高さを調整する。



組み立て・設置後の確認

以下の表に従って組み立て確認を行ってください。

No.	確認項目	チェック
1	標準ベースを使用している（ステップベースを使用していない）	
2	標準ベースが床面に接地し、支柱が垂直になるように設置されている	
3	支柱固定ネジセットは付属の工具でしっかり締め付け、確実に締まっている	
4	高さ調整ネジが完全に固定されている	
5	各部にガタつきなど異常がない	
6	下支柱に品番・警告ラベル、フレームに目盛りラベルが標準ベース側に貼り付けられている	
7	ベース縁ゴムのめくれ、巻き込みがない	
8	扉と手すりの干渉や扉下と標準ベースとの干渉を確認して設置されている	
9	壁際に設置する場合は、壁と手すり部の間が 110 mm 未満、または 350 mm 以上になっている	
10	ベランダなどの転落の危険性がある場所に設置する場合は、屋外側の柵や窓から 60 cm 以上離して設置されている	

使いかた

設置方法

警告



- 安定性を確認して使用する

→地面と標準ベースのすき間によるガタツキがある場合はガタツキを抑えるオプション部品「ガタツキ抑制プレート」の使用をおすすめします（5 ページ参照）



- 水平方向に力を加えない

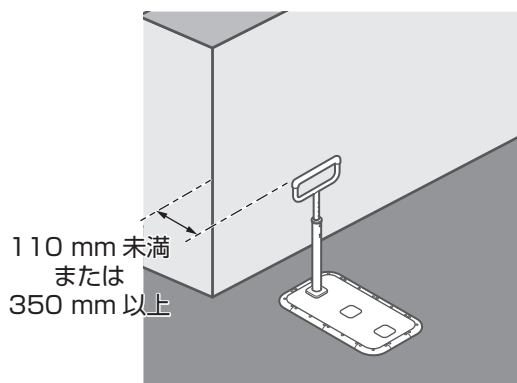
※標準ベースが浮き上がり、製品の破損の原因となります。

- 段差の上に設置する場合は、段差の下からご利用者の手が届かない位置に設置する（転倒によるけがの原因）



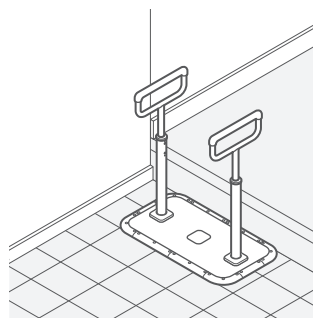
壁際などで使用する場合

- 壁際に設置する場合は、壁と手すり部の間が 110 mm 未満、または 350 mm 以上になっている。



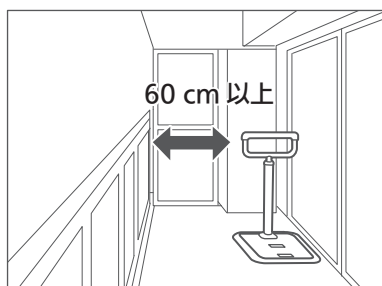
玄関で使用する場合

- 利用者が歩行する位置（標準ベースの上に体重がかかる位置）に標準ベースを設置する。
- 踏み台を標準ベースの上に置いたり、組み合わせて使用しない。



ベランダなどの転落の危険性がある場所で使用する場合

- 屋外側の柵や窓から 60 cm 以上離して設置する。



お手入れのしかた

安全のため、定期的にお手入れをお願いします。

月1回以上こまめに

- ガタつき、ネジのゆるみ・締め忘れがないか確認してください。
- 部品の変形、破損がないか確認してください。
- その他異常がないか確認してください。

※雨や雪の日の翌日は、必ず上記を確認してください。

汚れがついたとき

お手入れに次のものを使用しないでください

- ・アルカリ性洗剤・酸性洗剤・塩素系洗剤
- ・シンナーやクレゾールなどの揮発性薬品
- ・たわし、みがき粉、研磨剤入りのスポンジ
- ・オゾン消毒
- ・塩素系漂白剤による漂白
- ・布用消臭スプレー
- ・柔軟剤
- ・ドラム式洗濯乾燥機や乾燥機（カーペット）

■手すり部・支柱

- ①中性洗剤のうすめ液をスポンジか柔らかい布に含ませて水拭きする。
 - ②洗剤が残らないよう拭き取り、陰干しか、乾いた布でから拭きする。
- ※アルコール消毒する際は、消毒後柔らかい布で拭き取り、10分間以上乾かしてください。

お願い

- 尿や塩分を含んだ液体が付着した時は、お手入れ方法に従い拭き取ってください。
- 色落ちするおそれがあるため、被覆をアルコールで強く擦らないでください。

消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- 製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。
- 消毒後は、仕上げに水拭きをしてください。
- 製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。

お願い

- 消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないでください。（劣化、破損による事故の原因）

保管方法

- 風通しが良く、日の当たらない場所で保管してください。
- 標準ベースは壁などに立てかけて保管しないでください。
 - ・ベース縁ゴムの変形、破損のおそれがあります。
 - ・転倒によるけがのおそれがあります。
- 次のような場所に放置しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
 - ・湿気の多い場所や雨の当たる場所
 - ・子供がいたずらをするおそれのある場所
 - ・段差や凹凸のある場所
 - ・潮風の当たる場所
 - ・ほこりの多い場所
- ウレタン素材には寿命があり、次のことに注意してください。
 - ・クッション性に優れているウレタン素材は、使用頻度に関わらず経年変化を起こし、割れ、ヒビ、崩れを起こし、破損するおそれがあります。
 - ・特に通気の悪い場所や湿度が高い場所での長期間の保管は避けてください。
 - ・割れやヒビ、崩れなどの症状が発生した場合は、使用を中止し、販売店に部品交換を依頼してください。
- あらためて使用される前には必ず各部を点検してください。

廃棄上のご注意

- 廃棄する際はできるだけ素材別に分解し、地域の分別ルールに従い廃棄してください。

修理を依頼される前に

下記の確認と処置をお願いします。

処置後なお異常がある場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

症状	考えられる原因	処置
使用中にガタつく	▶ 床面に段差がある	▶ 設置する床面の状況を確認してください
	▶ 高さ調整ネジがゆるんでいる	▶ 高さ調整ネジを締め付けてください
	▶ 支柱固定ネジセットがゆるんでいる	▶ 支柱固定ネジセットを締め付けてください
手すり部が傾いたまま戻らない	▶ 高さ調整ネジがゆるんでいる	▶ 高さ調整ネジを締め付けてください
	▶ 支柱固定ネジセットがゆるんでいる	▶ 支柱固定ネジセットを締め付けてください
	▶ 高さ調整ネジが片側しか固定されていない	▶ 高さ調整ネジを両側固定してください
異音がする	▶ 高さ調整ネジがゆるんでいる	▶ 高さ調整ネジを締め付けてください
支柱固定ネジセットや高さ調整ネジが締めにくい	▶ 穴位置とネジの先端がずれている	▶ 穴位置とネジの先端を合わせてください
標準ベースマットが浮き上がっている	▶ 位置がずれている	▶ 位置を合わせてしっかり押さえてください

製品の長期使用について

1. 本体表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、製造年月日を本体に表示しています（支柱フランジに表示しています）。

2. 想定安全使用期間とは

一般家庭用にてご使用いただく歩行サポート手すりにおいて、標準的な条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。無償保証期間とは異なります。

※一般家庭以外（病院、施設など、不特定多数の方が使用される場所）に設置された場合は、使用条件により、想定安全期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

3. 経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

【想定安全使用期間】

8 年（一般家庭にてご使用いただく場合）

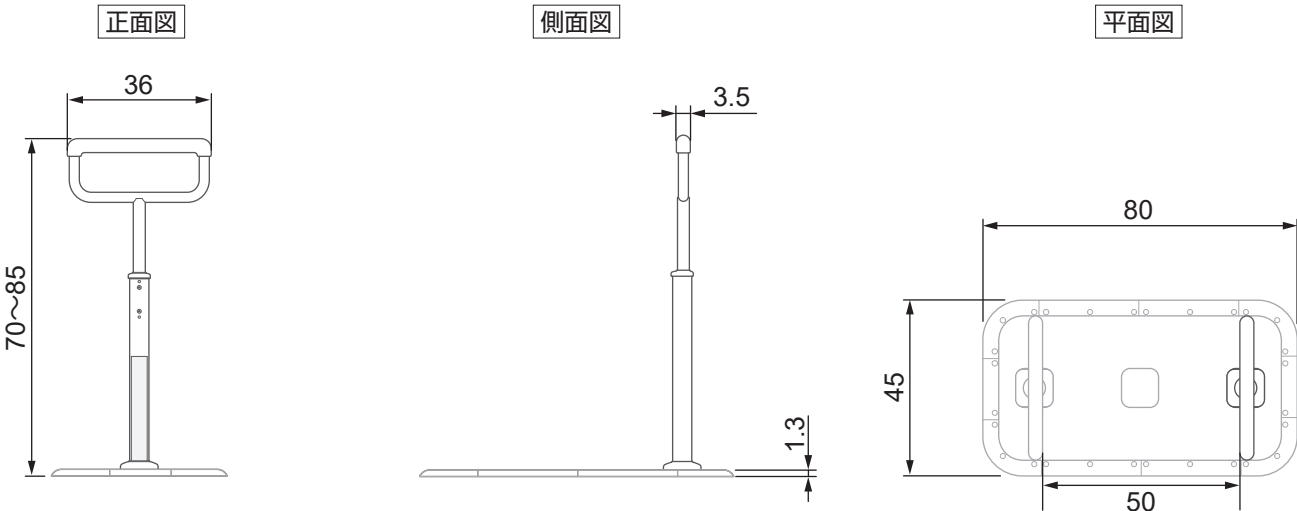
想定安全使用期間を超えてご使用いただいた場合は、経年劣化によるけがなどの事故に至るおそれがあります。

ただし、貸与の場合は、貸主の責任において、当社のサービスガイドなどに準ずる部品交換などによる適切なメンテナンスと定期点検を実施する場合は除きます。

仕様

製品名	歩行サポート手すり スムーディ 手すり 360
製品品番	PN-L80616
製品寸法	幅 36 × 手すり高さ 70 / 73 / 76 / 79 / 82 / 85cm（6 段階）
質量	3.2 kg
材質	フレーム、下支柱：ステンレス 被覆：ポリウレタン 支柱カバー：エラストマー
最大使用者体重	100 kg

製品寸法図（寸法単位：cm）



MEMO

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・
修理などのご相談は

■ まず、お買い上げの販売店へお申し付け
ください。

● お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電話

お引き渡し日 年 月 日

■ 保証書

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、
お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 **5 年**

当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、
製造打ち切り後、5 年保有しています。

修理を
依頼されるとき

■ まず、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ ご連絡いただきたい内容

①品名

②品番 ※品番記載位置は 5 ページをご覧ください。

③お引き渡し日

④異常の状態（できるだけ具体的に）

【持込修理対象製品】

● 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの
販売店が修理をさせていただきますので、おそれ
入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる
場合は、ご要望により修理させていただきます。

● 修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】 診断・修理・調整・点検などの費用です。
【部品代】 修理に使用した部品および補助材料代です。

※この製品は日本国内専用品ですので、日本国外で使わないでください。万一、日本国外で使われた場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品・お取扱いなどのご相談は
パナソニック エイジフリー株式会社

0120-365887

●受付時間 10:00～12:00（土、日、祝日除く）
13:00～16:00

<https://sumai.panasonic.jp/agefree/products/>

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、
ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック エイジフリー株式会社

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

©Panasonic AGE-FREE Co.,Ltd. 2026